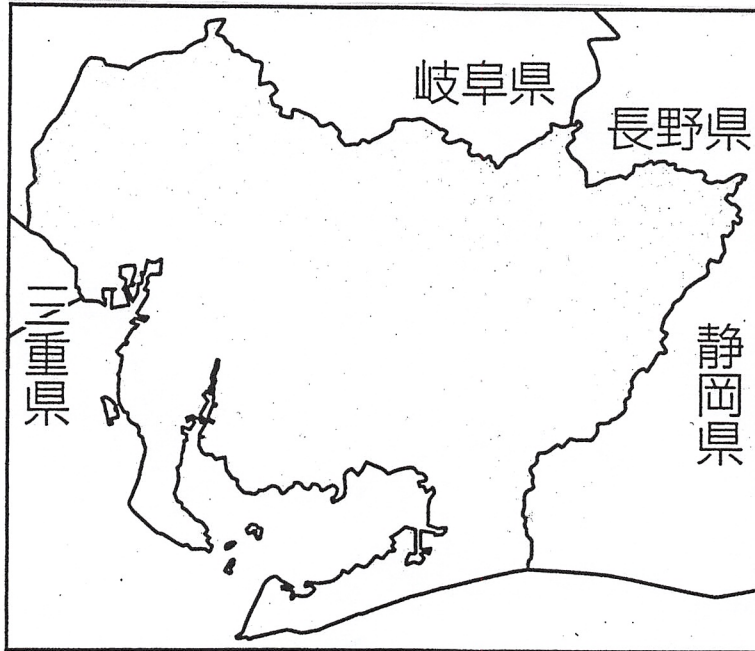


(1) 土地のようす (P4 ~ P9)

地形のようす



- ・愛知県ととなり合う4つの県についてまとめよう。

木曽川^{きそがわ}を境^{さかい}にして西に (三重県)、北に (岐阜県) がある。

三河^{みかわ}の山々を境にして北東に (長野県)、東に (静岡県) がある。

- ・愛知県の土地のようすをまとめよう。

西半分… (濃尾平野) 東半分… (美濃三河高原)

南… (伊勢湾) ・ (三河湾) という海が広がり、
(知多) 半島、(渥美) 半島がつき出ている。

山地のようす

- ・愛知県の北東部^{ほくとうぶ}… (美濃三河高原) ←「愛知の屋根」と呼ばれている。
ところどころに、平地も見られる。これらの平地は、(川谷) にあり、人々の多くはここに住んでいる。

(米) づくりをしたり、(お茶) や (しいたけ) の栽培^{さいばい}をしたり、
木を育てたりしている。

- ・美濃三河高原からは、(矢作) 川や (豊) 川などが流れ出ている。

山地を流れる川は、(深い谷) をつくり、曲がりくねって流れが (急) である。

平地のようす

- ・濃尾平野は（木曾 川）（長良 川）（揖斐 川）などが長い年月をかけて上流から運んできた（砂）や（土）が積もってできた大きな平野である。
- ・この平野では、三つの川の水を利用して、（農業）がさかんに行われるほか、（工業）や（商業）がさかんな都市も多く集まっている。
- ・南部には、輪中や（うめ立て地）・（干拓地）など、堤防で囲まれた（低い土地）が見られる。
- ・また、犬山市を中心に、扇を広げたような形でゆるやかにかたむいた土地が南西に広がっている。このような土地を（扇状地）という。

* 輪中とは…

水害を防ぐための堤防で囲まれた土地のこと。

* 干拓地とは…

浅い海や沼、湖を堤防で囲み、陸地や田畑にした土地のこと。

海辺のようす

- ・知多半島 南部…標高（100 m）ほどの丘があり、急な（がけ）が海にせまっている。海岸には入江がいくつもできていて、これを（漁港）に利用している。
- ・知多半島 北部…標高（40 m）ほどのなだらかな丘が続いている。
- ・知多半島 海岸には、（うめ立て地）が見られる。
- ・渥美半島…（太平洋）に面した海岸に、急な（がけ）と（砂浜）。
- ・渥美半島 東部（豊橋市寄り）…台地が広がり、三河湾側では（うめ立て地）が見られる。
- ・知多半島沖の島々…海岸は、激しい（波）にけずられ、切り立った（がけ）になっており、平地はほとんどない。

* 台地とは…

平野や盆地のうち、一段と高い台状の土地のこと。

(2) 気候のようす (P10~P12)

気候のようす

愛知県… 夏 気温が (高く) なり、たくさんの (雨) が降る。

冬 (晴れた) 日が多く、北西の (冷たい風) がふく。

愛知県の中でも (土地のちがひ) によっていろいろな気候の特徴が見られる。

美濃三河高原の気候

平地と比べて気温が (低く)、一年間を通じて (雨や雪) の降る量が多い。

夏…南からのしめった風が (たくさんの雨) を降らせる。

冬…気温が (低く)、標高が (高い) ので、(雪) がたくさん降る。

渥美半島の気候

愛知県の一番南に位置し、冬でも (暖かい所) で、キンセンカやキンギョソウなどの春の草花が見られる。

真冬でも、気温が (0℃) より低くなる日は少なく、(雪) もあまり降らない。

→その理由は…

渥美半島の沖合を暖かい海流が流れているから。

濃尾平野の気候

・夏、とても暑い。しめり気の多い (南風) がふき、最高気温が (35℃) をこえる
猛暑日になることもたびたびあり、(むし暑い) 日が続く。

・冬、「伊吹おろし」と呼ばれる北西の冷たい風がふく。かわいた風なので、(雪) を降らせることはあまりない。この風を利用して「切干し大根」をつくっている。

* 標高と気温の関係についてまとめよう (ヒント: P11 のどこかにのっています!)

標高が高くなるほど気温は低くなる。

標高が 100 m 高くなると気温は 0.6℃ F がる。

(3) 人口のようす (P13~P14)

ふ 増える人口

- ・愛知県には、およそ (755 万) 人 (2019 年) の人が住んでいる。
その多くが、濃尾平野・岡崎平野・豊橋平野などの (平地) に集まっている。
- ・名古屋市には、県全体のおよそ (3 分の 1) にあたる 233 万人 (2019 年) ほどの人が住んでいる。

*P13 右下のぼうグラフを見て気がついたことを書きましょう。

例 人口が どんどん 増えている。
毎年人口が増えている。 等

人口の増えた所 減った所

- ・名古屋市の (東部)、(岡崎 市) の^{あたり}では人口が大きく増えている^{ちいさ}地域がある。
- ・しかし、(美濃三河高原) にある町や村、(南知多町)・(美浜町) などでは人口が年々減ってきている。

*どうして、人口の増えるところと減るところができるのか、考えたことを書こう。

例 ベンリな所は人口が増えて、ふべんな所は減っているのだと思う

等
自分の考えが
書けていればOK

(4) 交通のようす (P15~P18)

市や町を結ぶ^{むす}鉄道

- ・愛知県内の鉄道は、名古屋市・(豊田市)・一宮市・(豊橋市) などの大きな市を中心に広がっている。
- 毎日、通勤・^{つうきん}(通学)・買い物などに利用されている。
- ・名古屋市には (地下鉄) も広がっている。
- ・鉄道は、周りの県や (東京)・(大阪) などの^{だいとし}大都市にもつながっていて、
^{しんかんせん}新幹線や^{とっきゅうれっしゃ}特急列車で^{いどう}移動するにも便利。

市や町を結ぶ道路

- ・名古屋市、豊田市、一宮市、豊橋市などの大きな市には、いくつかの（**国道**）や（**県道**）が集まっている。
- ・^{こうそくどうろ}高速道路や^{じどうしゃどう}自動車道は、（**人**）や（**品物**）を早く運ぶために、^{ととの}整えられてきた。
- ・2016（平成28）年（**新東名高速道路**）の愛知県区間が全線開通した。

空と海の交通

- ・^{ちゅうぶこくさいくこう}中部国際空港（セントレア）・・・愛知県の（**空**）の玄関
- 名古屋港・・・愛知県の（**海**）の玄関
- ・アジアをはじめとする世界の国々とながら、人や品物がさかんに行き来している。

広がる愛知の交通網^{こうつうもう}

- ・（**リニア中央新幹線**）・・・東京や大阪とを短時間で結ぶ計画
- ・新名神高速道路につながる、愛知・岐阜・三重の三県を結ぶ（**東海環状自動車道**）
も^{せいび}整備が進められている。